



歌う楽しさを みんなに伝えたい

小さい頃から歌うことが大好きで、高校でも合唱部で活動していた吉田夢さん。卒業後「塩釜高校OG合唱団」を立ち上げ、公民館や集会所、老人ホームなどさまざまな場所で、歌を歌いつつ多くの人たちと交流する「うたっこカフェ」を行っています。

参加された方からは、声を出すこと、好きな歌をみんなで歌うことで解放感と充実感に満たされるとの声があり、夢さん自身もみんなと歌うことが最大の幸せであり大きな喜びを感じているそうです。大好きな歌の魅力をみんなに伝えて一緒に楽しみたい、歌でたくさんの方の心を豊かにしたいとの想いで活動している夢さん。これからも、幅広い世代の人たちと「うたっこカフェ」で歌を歌っていくとともに、歌うことでいろいろな感性を引き出して心を育てる合唱クラブをつくるのが夢です。



公民館のイベントで、子どもたちと一緒に歌を歌う夢さん。



1月に開催した「TAGAJO Future Labo」の発表会では、発表の冒頭にリズム遊びを行い、場を和ませました。

たがさぼPressでも紹介しました！

「うたっこカフェ」に行ってみませんか？ (2019年1月12日掲載)

Twitter、Instagram、YouTubeもやっています！

塩釜高校OG合唱団

検索

ヒント from たがさぼPress

たがさぼのブログから、地域づくりに役立つ記事をご紹介します！

2020年3月12日(木)掲載 /

その情報、本当に正しい？
真偽を検証
「ファクトチェック」

2020年3月13日(金)掲載 /

「働くこと」に関する
相談窓口

2020年3月17日(火)掲載 /

「みんなの小さな声」を集めて、
地域の力で解決を探る

“たがさぼPress”とは？

たがさぼスタッフによるブログ。興味があれば「たがさぼPress」へ！
<https://blog.canpan.info/tagasapo/>



“tag”のアンケートのお願い



今後の誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！

また、以下のような情報もお待ちしています！

- 自分たちの団体を取材してほしい
- ユニークな活動や、地域のためにがんばっている団体・人を知っている
- こんな話題を取り上げてほしい

たがさぼからのお知らせ

たがさぼが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

「たがさぼ文庫」のご案内



たがさぼの図書スペース「たがさぼ文庫」に新しい本が入りました。NPOや町内会についての本など普段あまり目にしないものもあり、何かをはじめのきっかけになるような一冊と出会ったり、活動の参考になるようなヒントや新たな視点も得られます。一部をのそいで借りることもできますので、ぜひご利用ください。

手話通訳者になろう

みんなで作る総合計画

こども六法

PTAのトリセツ

プレゼン資料作成見だけノート

地方発外国人住民との地域づくり

手書き地図のつくり方

たがさぼ文庫本の借り方

- 1：利用者登録
- 2：窓口で貸出カードに記入
- 3：借りられるのは1回に2冊まで
- 4：2週間以内に返却

人も動物もしあわせになる未来をめざして

ちょっとしたきっかけが重なり始まったネット通販。少しずつ、みんなのやさしい気持ちが集まる場所になっています。人も、動物も、しあわせに暮らせる日をめざし、『にゃん太通販』は今日もワクワクを探しています。

かわいいグッズが
いっぱいだよ



1 人を想う気持ちからはじまった ネット通販

にゃん太通販「三毛猫にゃん太のショッピングモール」は、猫好きな人にはたまらぬ、猫雑貨と猫用玩具であふれています。サイトを運営しているのは七ヶ浜町在住の木下さんご夫妻です。

おふたりが栃木県的那須に住んでいた時に始めた、2匹の猫との暮らしをつづったブログ。そこで猫雑貨のつくり手と知りあい、悩みや制作への想いを知ります。つらい時でも作品をつくる楽しさや自分の作品を手にとってもらえる喜びは生活の励みになる!と思った木下さんは、2010年6月、販売手数料などの作家の負担を少なくした『にゃん太通販』の運営をはじめました。

ブログを通して知りあった方が野良猫や事情があって飼えなくなった猫の保護活動をしており、木下さんは活動を継続していく大変さを知り、何か手助けができればと活動者への寄付となるチャリティ商品「にゃんにゃんBOX」の販売を始めました。この商品は、チャリティ企画に賛同した方々から提供された品を詰合せにし、商品の梱包・発送準備、チラシ配布やSNSでの拡散など多様な協力により、送料を除いた売上金が全額保護活動などに寄付されます。

2 少しでも力になりたいという思いが、 気づけば大きな支援に

「購入する人がワクワクして本当に欲しいと思えるものでなければ、いずれ飽きられてしまいます。継続した支援をするためには出品する側も、購入する側も、もちろん運営する側も、楽しくてワクワクしないと続かないですよ」と木下さん。みんなを楽しませたい、困っている人の力になりたいという思いがたくさんの人に届き、当初、年間10万円程だった「にゃんにゃんBOX」の寄付額は徐々に増え、昨年は1,130,999円にもなりました。そしてワクワク提供の場の一つとして、年に一度『にゃん太通販のイベント“にゃっ展”』を開催しています。このイベントは、つくり手同士、保護活動者やボランティアとの交流などネットだけでは語れない情報共有の場にもなり、また動物保護の啓発の場としても一役買っています。

ウェブページ『にゃん太通販』について詳しくは検索!

にゃん太通販

検索



3 保護猫預かりボランティアを 通して気づいた課題

木下さんご夫妻は昨年夏から7匹の保護猫の預かりを始め、これまで6匹を新たな飼い主に譲渡しました。以前からの啓発活動の他、新たに「預かり」というボランティアで感じたのは、飼い主や保護する人の中にも、飼育の認識・理解の少なさ、意識の違いなど、多くの課題があるということでした。家族として可愛がっていたり、殺処分を減らすために頑張っていたりしても、情報や知識の少なさからいつの間にか劣悪な環境の中での飼育になっていたり、自身が疲弊し飼育放棄につながってしまうこともあります。その状況を少しでも解決したいと考え、今後の啓発を猫好きだけでなくもっと幅を広げて、地域の中で理解を広めていくことで、人も動物も一緒にしあわせになれる環境をつくっていきたくて考えています。



「活動しているなんて自分では思っていなかったんですよ。気づけばこんなカタチになっていたんです」と、木下さん。にゃん太ちゃん(女の子)と一緒に。



『にゃん太』通販のそきにてニャ!

新型コロナウイルスの影響のため、
今年は『にゃん太通販のイベント“にゃっ展”』に代わり、

「ネットdeにゃっ展2020」を
開催します!

総勢42名のつくり手と、6つの食の店舗が参加!
猫雑貨の詰め合わせチャリティBOXも
販売します!!



NET^{De} 2020
5/23(土) - 31(日)

What's? //



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ (価値) をつける、という意味が込められています。



@tagasapo

たがさぽのツイッターへの
フォローをお願いします!



<https://www.tagasapo.org/>

たがさぽのホームページは
こちらへアクセス!